

井野長割遺跡調査史

調査次	調査期間	調査機関	調査面積	調査の目的と概要等
発見	S44(1969)年 10月26・28日	慶応	—	西側のマウンド(M7)の立会い調査。ヤマトシジミ主体の貝ブロック5か所、炉跡7基発見。
1次	S45(1970)年 7月16日～31日	慶応	366 m ² (概報による) 381 m ² (調査原図による)	学校建設に先立つ西側のマウンド(M7)の調査。晩期中葉の大型住居跡(推定径10m前後)1軒、焼土跡を検出。
2次	S48(1973)年 (その1) 3月20日～22日、 4月6日～26日 (その2) S49(1974)年12 月20日～S50 (1975)年2月20 日	慶応	(その1) 436 m ² (概報による) 416 m ² (調査原図による) (その2) 不明	(その1) 学校体育館建設に先立つ南側のマウンド(M5)の調査。マウンド下から後期前葉の住居跡1軒、同中葉の住居跡2軒を検出。中葉の住居跡1軒は推定径10mの大型で、クリの柱材、炭化したスノコ状編組製品、異形台付土器出土。マウンド南側裾部で後期中葉の土器塚を検出。
3次	H10(1998)年 1月6日～30日	印文セ	確認調査 上層 188 m ² /1,883 m ² 本調査 上層 540 m ²	北志津保育園建て替えに先立つ遺跡南側の調査(記録保存)。縄文時代の遺構なし。近世のシン穴列と台地整形区画を検出。縄文土器(中・後期)出土。
4次	H13(2001)年 2月20日～4月12 日 6月1日～21日	印文セ	確認調査 上層 1,300 m ² /36,000 m ² (H12年 度) 確認調査 上層 407.4 m ² /4,074 m ² (H13年度4月) 確認調査 上層 490 m ² /4,900 m ² (H13年度6月)	井野東土地区画整理事業に伴う調査(記録保存)。調査前の伐採により、「環状盛土」を視認。マウンドの残る遺跡東側から斜面部と南側の谷奥部の確認調査を実施。中央窪地を囲む環状盛土を確認。斜面部に大量の廃棄遺物、二次堆積土(ローム由来)、貝層を確認。斜面部の旧地形を確認。 遺跡の重要性を認識。
5次	H14(2002)年 3月1日～29日	印文セ	確認調査 上層 111 m ² /2,700 m ²	学校内の自然観察園(井野っ子山)の遺跡内容確認調査。晩期前葉の住居跡1軒、後期後半のヤマトシジミ主体の貝塚2か所、土坑・ピット多数を検出。マウンド(M7)の一部であることが判明。
6次	H14(2002)年 11月28日	印文セ	確認調査 上層 176 m ² /466 m ²	推定マウンドM6とM7の切れ目部分からその外側の遺跡内容確認調査。晩期の住居跡2軒を検出。遺構の分布状況から西側マウンドの範囲が判明。
7次	H15(2003)年 3月3日～20日	印文セ	確認調査 上層 152.5 m ² /1,580 m ²	中央窪地部分西側の遺跡内容確認調査。住居跡3軒、土坑9基、ピット37基、炉跡3基を検出。中央窪地が関東ローム層を削って形成されたことが判明。
8次	H15(2003)年 8月1日～28日	印文セ	確認調査 上層 593 m ² /1,225 m ²	学校建設により消滅した西側マウンド(M6・M7)部分の遺跡内容確認調査。道と想定される遺構空白域を挟んで住居群、土坑群(墓穴・貯蔵穴)、性格不明の大型土坑を検出。東北系土器出土。各種遺構の計画的な配置が判明。

9次	H16(2004)年 1月6日～21日	印文セ	本調査 上層 1,365 m ²	井野東土地区画整理事業に伴う確認・本調査(記録保存)。第4次調査で検出された道状遺構の調査。道状遺構脇から土坑墓、後期前葉の土器集積遺構を検出。
10次	H17(2005)年 2月1日～5日	印文セ	確認調査 上層 106 m ² /284 m ² 下層 4 m ² /284 m ²	M5・M6の切れ目部分から中央窪地寄りの裾部にかけての内容確認調査。マウンドの切れ目部分に遺構の希薄な後・晩期の遺物包含層を確認。
H17(2005)年3月2日 国指定史跡 指定面積 22,955.65 m ² (うち井野小学校内 2,555.29 m ²)				
11次	H17(2005)年 9月5日～9日	印文セ	確認調査 上層 200 m ² /200 m ²	学校仮設校舎建設に先立つ調査(記録保存)。集落中心部の西限から西へ40mほど離れた部分で、中期末葉の土坑1基のみ検出。調査範囲内の地山が自然堆積層であることを確認。
12次	H18(2006)年 2月20日～24日	印文セ	確認調査 上層 120 m ² /405 m ²	推定西側マウンド(M7)部分の遺構確認と遺跡北西部の旧谷部の内容確認調査。マウンド下の遺構の大部分は削平により消滅していたが、中期末の土坑1基を検出。谷は自然埋没。
13次	H18(2006)年 12月1日～15日	印文セ	確認調査 上層 57.8 m ² /320 m ²	中央窪地西端の内容確認調査。第7次調査時の住居跡の続きとみられる柱穴群と1次調査の大型住居跡と重複するとみられる柱穴(掘立柱建物跡か)を検出。柱穴の上層で晩期前葉の祭祀跡確認。
14次	H19(2007)年 5月21日～25日	印文セ	確認調査 上層 707 m ²	井野東土地区画整理事業に伴う確認調査(記録保存)。井野小学校の南側隣接地が対象。縄文時代の遺構なし。14次で近世の道路状遺構を検出。縄文土器(後期)出土。集落範囲の南西端が判明。
15次	H19(2007)年 11月26日～12月3日	印文セ	確認調査 上層 25.1 m ² 下層 39 m ²	
16次	H20(2008)年 2月7日～15日	印文セ	確認調査 116 m ² /254 m ²	道状の遺構空白域続きの内容確認調査。推定マウンドM6西側裾部で第8次調査時検出の土坑群の続きを検出。
17次	H20(2008)年 8月18日～28日	印文セ	確認調査 92 m ² /3,068 m ²	学校正門脇(井野っ子山公園)で遺跡内容確認調査。縄文時代の遺構なし。チャート主体の剥片集中箇所を検出。遺跡範囲の西側限界を確認。縄文土器(後期後葉主体)出土。
18次	H26(2014)年 8月5日～12日	佐倉市	確認調査 上層 18.6 m ² /18.6 m ² 本調査 上層 3.4 m ²	校舎の耐震補強工事に伴う確認・本調査(記録保存)。縄文時代後期末葉の土坑2基を検出。1基は大型の貯蔵穴で、工事影響範囲以下を地下保存。
19次	H27(2015)年 6月3日～17日	佐倉市	確認調査 上層 32 m ² /37 m ² 本調査 上層 30 m ²	校舎の耐震補強工事に伴う確認・本調査(記録保存)。縄文時代後期前葉～中葉の土坑・竪穴住居跡を検出。 既存校舎の下部に遺構が残存することが判明。

* 調査機関の略号は、「慶応」は慶應義塾大学民族学・考古学研究室、「佐倉市」は佐倉市教育委員会(文化課)、「印文セ」は公益財団法人印旛郡市文化財センターを表す。